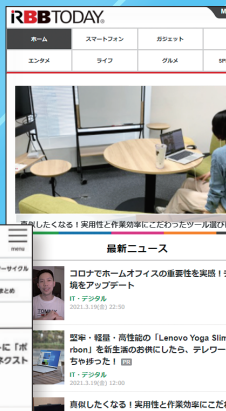
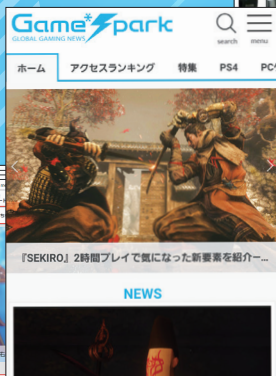


株主通信「イードプレス」

iid
Press

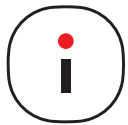


We are the
User Experience Company.

第22期

2021年6月期（2020.7.1～2020.12.31）

上半期報告書



株主の皆さまへ TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

上半期は引き続き新型コロナウイルス感染症により一部広告ビジネスへの影響を受けたものの、「巣ごもり消費」によりEC関連やアニメ・パズル雑誌などの出版ビジネスにはプラス効果となり、前年同期比で連結売上高は110.6%、営業利益は134.5%といずれも2桁増となり、上場後の上期比較では過去最高を更新することができました。

2021年6月期は、前期に続きコロナ禍の環境変化に適応したビジネス展開を意識して取り組んでおります。メディア事業においては、Withコロナ時代の新たなマーケティング戦略として、オンラインでのセミナーやイベントを積極的に開催しており、特にギガスクール構想が進む教育ジャンルでは活況となっております。また、巣ごもり消費の拡大・定着を受けたEC事業ではグループ会社を中心に好調に推移しており、軒並み前年同期比で大幅伸長を続けております。また、富士山マガジンサービスとの合併会社であるアイデアにおいて、出版社との協業によるグルメ通販サイトをオープンするなど、新規事業も積極的に展開しております。

M&A関連では、プロトコーポレーションから趣味・習い事の教室検索サイト「グースクール」の事業取得、教育機関に特化した集金業務のキャッシュレス化サービス「enpay」を提供するエンペイと資本業務提携するなど、コロナ禍においても積極的な戦略投資を継続しております。

一方で、変化に適応した合理的な企業運営として、リモートワークの継続に伴う出社率を鑑みたオフィス移転を実施し、固定費の削減を図るとともに、より柔軟な働き方を実現することで人材を確保してまいります。

私たちイードグループは、今後も社会情勢の変化に柔軟に対応していけるよう、基本戦略である事業領域の拡大とビジネスモデルの拡充により、収益の最大化を図ってまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

- | | | | |
|------------------|---|------------|---|
| 株主・投資家の皆さまへ | 1 | 特集 | 5 |
| イードの事業概況 | 2 | 会社概要・株主の概況 | 9 |
| 2021年上半期 業績ハイライト | 3 | | |

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



2021年上半期 業績ハイライト

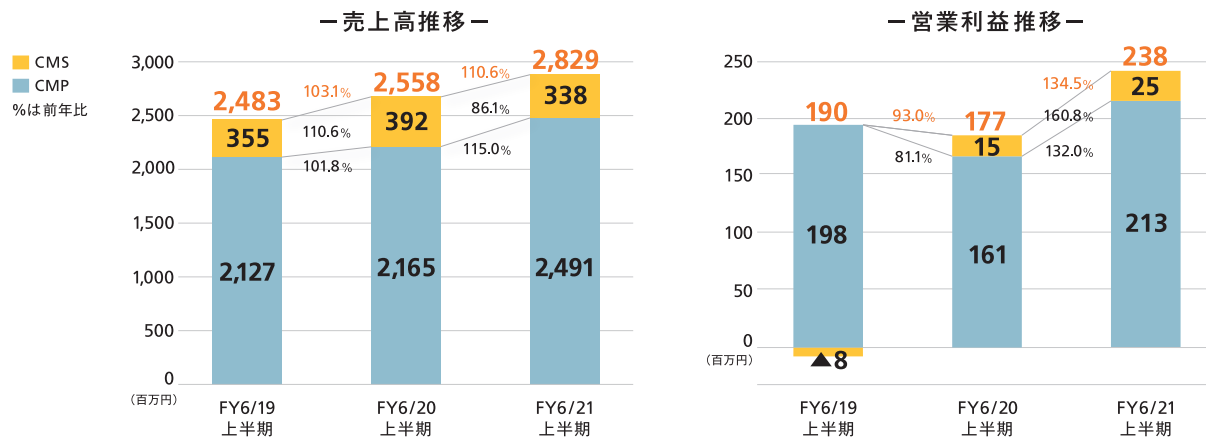
- ・連結の売上高は前年同期比2桁増、上期比較で過去最高を更新
- ・連結の営業利益は前年同期比134.5%の大幅増、上期比較で過去最高(上場後)を更新

連 結				CMP				CMS			
	上半期	前年同期	前期比		上半期	前年同期	前期比		上半期	前年同期	前期比
売上高	2,829	2,558	110.6%	売上高	2,491	2,165	115.0%	売上高	338	392	86.1%
営業利益	238	177	134.5%	営業利益	213	161	132.0%	営業利益	25	15	160.8%
営業利益率	8.4%	6.9%	+1.5pt	営業利益率	8.6%	7.5%	+1.1pt	営業利益率	7.4%	4.0%	+3.4pt

(百万円)

2021年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業は売上高、営業利益ともに前年同期比2桁増、上期比較で過去最高(上場後)を更新
- ・CMS事業は前年に大型案件があったため売上高は減少も、営業利益は改善



2021年上半期 経営成績と事業概況

- ・売上高および各段階利益ともに2桁増、連結子会社株式の一部売却を行い当期純利益(※)は前年同期比2.6倍と大幅増(最高益更新)

当上半期は売上高が2,829百万円(前年同期比110.6%)、営業利益は238百万円(前年同期比134.5%)、経常利益は213百万円(前年同期比119.6%)、当期純利益は366百万円(前年同期比262.6%)となりました。

CMP事業では引き続き新型コロナウイルス感染症の影響等により、広告需要は依然十分な回復には至りませんでした。[「巣ごもり消費」]の拡大・定着化を受けて、データ・コンテンツ事業(EC物販含む)は引き続き前年同期比118.0%の大幅増となりました。また出版ビジネス(アニメ雑誌、パズル雑誌)も「巣ごもり」の定着化に加え、アニメ「鬼滅の刃」ブームを受けて、前年同期比294.3%と大きく伸長しました。

また、連結子会社の株式の一部売却の実施により子会社株式売却益418百万円を特別利益に計上した一方で、CMP事業における事業譲受時に計上したのれんにつきまして、新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえた事業環境および今後の見通し等を勘案し、その一部について減損損失132百万円を特別損失に計上したこと等により、当期純利益は366百万円となり、前年同期比262.6%で上期比較では過去最高益となりました。

2021年6月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから開示しておりません。連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

	上半期	前年同期	前年比
売上高	2,829	2,558	110.6%
営業利益	238	177	134.5%
経常利益	213	178	119.6%
当期純利益(※)	366	139	262.6%

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。(百万円)

2021年上半期 貸借対照表

- ・当期純利益(※)の堅調な積み上げによる利益剰余金の増加により純資産は379百万円増加

当上半期における総資産は4,211百万円(前期末比233百万円増加)となりました。これは主に、流動資産に含まれる現金及び預金が179百万円増加したことや、固定資産に含まれる繰延税金資産の回収可能性見直し等による投資その他の資産が209百万円増加したこと、のれんが113百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は863百万円(前期末比146百万円減少)となりました。これは主に、連結範囲から除外した子会社の借入金が171百万円減少したことによるものです。

純資産合計は3,348百万円(前期末比379百万円増加)となりました。これは主に、利益剰余金が367百万円増加したことによるものです。

	FY6/21 上半期末	FY6/20 通期	前期末比 増減額
流動資産	3,228	3,062	166
現金及び預金	2,193	2,014	179
固定資産	983	916	67
のれん	151	264	▲113
資産合計	4,211	3,978	233
流動負債	850	859	▲9
固定負債	12	150	▲138
負債合計	863	1,009	▲146
株主資本	3,285	2,895	390
利益剰余金	1,541	1,174	367
自己株式	▲35	▲35	0
純資産	3,348	2,969	379
負債・純資産	4,211	3,978	233

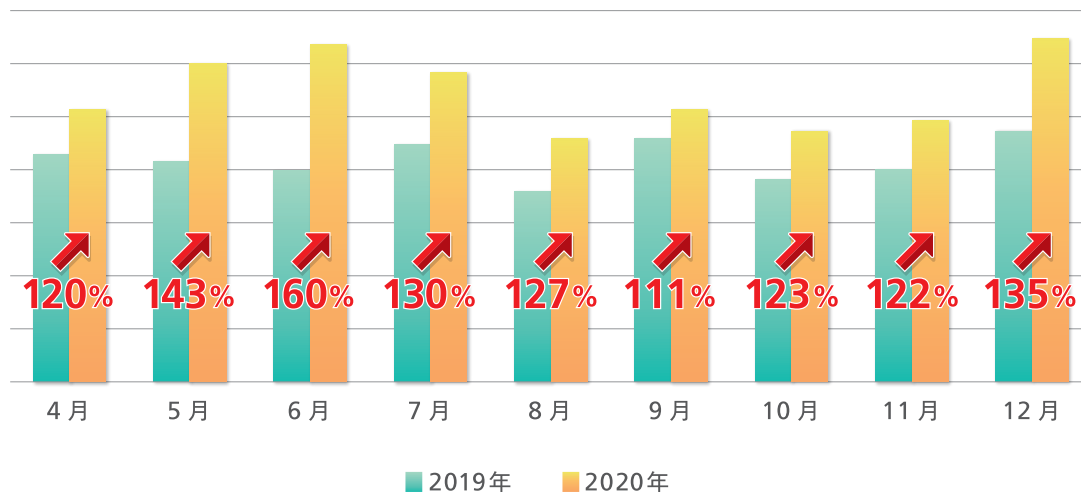
※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。(百万円)

コロナ禍でも好調が続くEC領域

新型コロナウイルスによる「巣ごもり」消費の拡大を受け、EC物販は好調に推移しています。

EC部門のあるグループ3社
(エンファクトリー、絵本ナビ、ネットショップ総研)のEC物販事業の売上は、
今期も引き続き前年比で大きく伸長

3社のEC物販部門 売上合計



※絵本ナビは、2020年12月末に連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しております。

Withコロナ時代の新たなマーケティング企画

新型コロナウイルスの影響により、前期より既存マーケティング施策のオンライン化を図っておりますが、今期も引き続きオンラインでのセミナー/イベントを積極的に開催しております。

特に教育ジャンルにおけるオンラインセミナー/イベントが活況
教育情報サイト「リセママ」の10周年企画としても継続開催

「ボーク重子さんの非認知能力子育てコーチング presented by ウィズダムアカデミー」

高付加価値アフタースクールとして人気の「ウィズダムアカデミー」と読者参加型のオンラインイベント「ボーク重子さんの非認知能力子育てコーチング presented by ウィズダムアカデミー」をリセママで共催しました。



保護者向けキャリア教育セミナー 「激動の時代を生きる子どもたちへ、今親ができること」

NPO法人日本学生社会人ネットワークとともに、小学生から高校生のお子さまをもつ保護者向けにキャリア教育セミナー「激動の時代を生きる子どもたちへ、今親ができること」をリセママ10周年特別企画として開催しました。



オンラインライブイベント 『アフターGIGAスクールの学校とEdTech』

経産省の担当者とEdTech業界のキーマン8名が一堂に会したオンラインライブイベント『アフターGIGAスクールの学校とEdTech』EdTech業界2020年振り返り＆2021年大予測』をリセママ10周年特別企画として開催しました。



コロナ禍をチャンスと捉え投資を継続

既存メディアとの相乗効果、および既存投資先における新規事業等により事業拡大を図ってまいります。



Fintech×SaaSプラットフォーム
「enpay (エンペイ)」を提供する
株式会社エンペイと資本業務提携



教育機関に特化した集金業務のキャッシュレス化を実現する「enpay (エンペイ)」を提供する株式会社エンペイと資本業務提携しました。今後は日本最大級の教育情報メディアである「リセマム」とも連携し、子育て・教育分野においてメディア・EC・金融サービスを総合的に事業展開してまいります。

IDEA

富士山マガジンサービスとの
合併会社・株式会社アイデアが、
文藝春秋と共同で食の通販サイト
「文春マルシェ」を開設

おいしいは、ニュースだ
文春マルシェ



「文春マルシェ」では、文藝春秋の取材力やネットワークを活かし、本当においしいものを全国から集めて提供しています。「おいしいは、ニュースだ」をコンセプトに、バイヤーが生産者やシェフ、仲買人など食のプロとコミュニケーションをとり、厳選した商品を販売しています。今後はアイデアでは、ECプラットフォームと運営力を活かし、出版社のECサイト運営を支援します。

グループ会社の取り組みについて

企業の「働き方改革」を推進する複業（副業）ビジネスを展開しています。



エンファクトリーが新しい人材サービス「複業留学」を開始
越境型研修サービスにより企業の人材育成・組織活性化を支援



創業以来「専門禁止!!」という人材理念を掲げ、社員の副業・兼業を推奨するエンファクトリーが、チーム型「複業」活動を通じて人材育成・組織活性化を支援する越境型研修サービス「複業留学」を提供開始しました。

「複業留学」は、従業員が複業としてベンチャー企業で働くことで、越境的活動を促進します。送手企業にとっては従業員の人材育成や成長機会の提供、受入企業にとっては外部人材活用による課題解決と双方にとってメリットのある取り組みです。

これまでエンファクトリーが蓄積してきた複業の実績・ノウハウを活かして従業員の複業活動をサポートします。

エンファクトリーは、今後も従業員の「複業（副業）」活性化を通じて、企業の働き方改革を支援します。





会社概要

会社名 株式会社イード（IID, Inc.）
設立 2000年4月28日
所在地 〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
※2021年1月12日付で、〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー17階に移転いたしました。
資本金 873,817千円
事業内容 メディア事業
リサーチ事業
メディアコマース事業
従業員数 単体147名／連結232名
子会社 Interface in Design, Inc.
株式会社エンファクトリー
株式会社ネットショップ総研
マイケル株式会社
※株式会社絵本ナビは、第2四半期会計期間において、株式の一部売却により、連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しております。

役員

代表取締役 宮川 洋
取締役 須田 亨
取締役○ 大和田 廣樹（株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長）
取締役○ 吉崎 浩一郎（株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監査役 山中 純雄
監査役○ 安達 美雄
監査役○ 藤山 剛（株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

○＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 5,012,200株
株主数 2,324名

■大株主の順位			
順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.22%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.41%
3	株式会社マイナビ	400,000	8.04%
4	株式会社ティーガイア	250,000	5.02%
4	株式会社ボブラ社	250,000	5.02%
6	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	4.82%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.02%
8	MSIP CLIENT SECURITIES	172,600	3.47%
9	株式会社SBI証券	139,090	2.79%
10	宮川 洋	131,700	2.64%

（注1）2020年12月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。
（注2）当社は、2020年12月31日時点で自己株式39,793株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

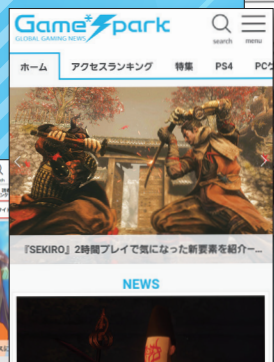
株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場 東京証券取引所マザーズ
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

株主通信「イードプレス」

iid
Press



We are the
User Experience Company.

第22期 上半期報告書

2021年6月期 (2020.7.1 ~ 2020.12.31)

株式会社イード
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>